

環境に配慮したアパート向けの「太陽光発電システム」の 設置棟数が 7,000 棟に達しました

株式会社レオパレス 21（本社：東京都中野区、代表者：深山英世、以下レオパレス 21）が 2011 年 4 月より開始した、太陽光発電システムの設置棟数が 7,000 棟（うち 976 棟は屋根借り太陽光発電事業）に達しました。これは、当社管理アパートで「太陽光発電システム」の設置可能な約 22,000 棟のうち 31%を超える割合です。合計発電容量は 85MW に達し、一般家庭約 28,000 世帯分の電力需要に相当します。

【レオパレス 21 の太陽光発電システム】

2011 年 4 月 導入開始
2012 年 7 月 「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」スタート
2012 年 9 月 「福島実証モデル事業」採択
2012 年 12 月 設置棟数 5,000 棟突破
2013 年 2 月 「屋根借り太陽光発電事業」を全国展開
2013 年 7 月 設置棟数 7,000 棟突破
（うち 976 棟は屋根借り太陽光発電事業）



イメージ図

【太陽光発電システムの特長・メリット】

①アパートの屋根が発電所になる、クリーンな発電システム
発電の際に CO₂ を発生させず、永続的に使用できる太陽エネルギーを活用した環境に配慮したシステムです。

②国による電力を買い取る制度など、見逃せない経済的なメリット
平成 24 年 7 月にスタートした「固定価格買取制度」は電力を一定期間、固定の価格で国が買い取る制度です。

③万一の際にも安心・安全。地震に強い賃貸住宅
通常、売電している電力は、万一の際には非常用の電力としても有効活用できます。また、地震に強い工法を採用しているので、安全性も確保しています。

【今後も環境保護に大きく貢献】

10kW の太陽光発電システムを設置した場合、全国平均で年間 10,000kWh の発電量が期待できます。これは、原油消費を年間約 2,270 リットル削減できる量で、また CO₂ の排出を年間 3.14t - CO₂ 削減できる量です（太陽光発電協会による）。

レオパレス 21 は、設置棟数 7,000 棟（うち 976 棟は屋根借り太陽光発電事業）からさらに日本全国の賃貸住宅の屋根に太陽光発電システムを設置し続け、次世代へ残す地球環境の保護という社会的責任を果たしていきます。

【参考】

レオパレス 21 の「太陽光発電システム」

http://www.leopalace21.jp/contents/index_sunlight.html#

本件に関するお問い合わせ先

広報グループ

03-5350-0216